

<別紙2>科目の内容等

① 地理総合

- (ア) 科目内容 世界の諸地域の自然環境、社会環境と人々の暮らしを学びます。
- (イ) 条件 なし
- (ウ) 目標 社会的な事象の地理的な見方・考え方を身につけ、グローバル化する国際社会において主体的に平和で民主的な世界を担う資質を養います。
- (エ) 教材費用 ¥3,437

② 歴史総合

- (ア) 科目内容 目標を踏まえて、現代的な諸課題の形成に関わる歴史について日本史と世界史の両面から学習します。
- (イ) 条件 なし
- (ウ) 目標 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得・考察・構想します。
- (エ) 教材費用 ¥2,430

③ 世界史探究 β

- (ア) 科目内容 ・アジア諸地域と帝国主義 ・二つの世界大戦と現代の世界
・上記の目標を踏まえて、以下に例示したテーマに関する問題演習を行います。
・中国史 ・イスラーム史 ・ヨーロッパ史
・東南アジア史 ・近現代史 ・世界史総合
- (イ) 条件 世界史探究 α 履修済み
「世界史探究 α 」との同時履修は事前に地歴科の担当者と相談が必要です。
- (ウ) 目標 ・近世以降の歴史について、ヨーロッパ諸国の世界進出をアジア・アフリカ地域の歴史と関連付けながら学習します。
・「歴史総合」および「世界史探究 α 」で学んだ内容を具体的な問題演習を通じて理解を深め、歴史的事象に対する知識や思考力を養います。
- (エ) 教材費用 ¥1,913

④ 郷土史かながわ

- (ア) 科目内容 年間に複数回、校外フィールドワークを実施。プランニング、資料調査、実地調査、発表、報告書作成を行います。
- (イ) 条件 なし
- (ウ) 目標 独自教材『郷土史かながわ』『かなそうフィールドワークガイド』等を使用し、郷土からわが国の発展の歴史や文化を学び、あわせて郷土としての神奈川の特徴を探究します。
- (エ) 教材費用 なし

⑤ 倫理 α

- (ア) 科目内容 ・思想の源流（ギリシア思想、キリスト教、イスラーム、仏教、古代中国思想）
・西洋近現代思想（モラリスト、経験論と合理論、カント、ヘーゲル、功利主義など）
※授業時数の都合上、扱う順序を変更・省略することがあります。
- (イ) 条件 公共履修済み
- (ウ) 目標 先哲の思想や、現代社会の諸課題などを手がかりにして、倫理的な考え方（なぜそれが「よいこと」と言えるのかについての考え方）を身に付け、人間としての在り方生き方について考えていきます。
- (エ) 教材費用 ¥1,520

⑥ 政治・経済α

- (ア) 科目内容
- ・民主政治の基本原則(政治と法、世界の政治体制、日本国憲法、基本的人権 など)
 - ・日本の政治機構 (立法、行政、司法、地方自治 など)
 - ・現代の国際政治 (国際法、国際連合、国際政治の動向 など)
 - ・現代の経済 (市場機構、経済思想、社会保障、財政など)

※授業時数の都合上、扱う順序を変更・省略することがあります。

(イ) 条件 公共履修済み

(ウ) 目標 政治・経済の基本的な枠組みや事象を理解し、今日的な課題や問題意識を持つことにより、国際的な視野を持ちながら民主主義社会の中で主体的に生きる主権者としての意識を育むことに主眼を置きます。

(エ) 教材費用 ¥1,569

⑦ 文化人類学

- (ア) 科目内容
- ・文化人類学概論
 - ・日本列島の文化と世界の文化を比較 (調べ学習と発表)
 - ・グローバル時代の文化の多様性等を扱う予定

(イ) 条件 日本史、世界史、地理など地理歴史科目を履修済みであることが望ましい。

(ウ) 目標

- ・ものごとを客観的に観察し検討する文化人類学の思考法を身に付ける。
- ・人類の文化の共通性、異質性、多様性を学習し様々な文化への理解を深めて、「人間とは」という普遍的なテーマについて考える。

(エ) 教材費用 なし

⑧ 数学 I α

- (ア) 科目内容
- ・「数と式」では、数的処理の基本的な概念を理解できるようにし、式を多面的にみたり処理したりするとともに、事象の考察に活用します。
 - ・「2次関数」では、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用します。
 - ・「図形と計量」では、三角比の意味やその基本的な性質について理解し有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用します。
 - ・「データの分析」では、統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにします。

(イ) 条件 なし

(ウ) 目標

- ・基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養う。
- ・数学のよさを認識できるようにし、それらを活用する態度を養う。

(エ) 教材費用 ¥3,850

⑨ 数学 II α

- (ア) 科目内容
- ・「式と証明」では、3次以上の多項式の展開や因数分解、多項式の割り算、等式・不等式の証明などについて学び、基本的な処理技能を身に付けます。
 - ・「複素数と方程式」では、数の範囲を複素数まで拡張し、2次方程式を解くことや因数分解を利用して高次方程式を解くことを学びます。
 - ・「図形と方程式」では、座標を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現する有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用します。
 - ・「三角関数」では、角の範囲を一般角まで拡張した上で、三角関数の意味を理解し、三角関数に関する新たな性質を導き、それらを事象の考察に活用します。
 - ・「指数関数と対数関数」では、指数法則や対数の意味とその基本的な性質を理解し、指数関数および対数関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、関数についての理解を一層深め、それらを事象の考察に活用します。

・「微分法と積分法」では、微分と積分の概念がいろいろな事象を数理的に取り扱うのに有用であることを理解し、それらを活用して問題を解決します。

(イ) 条件 数学 I α を履修済み (数学 A を履修済みが望ましい)

(ウ) 目標

- ・数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。
- ・概念や原理・法則などを既習の知識と関連付け、より深く体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりするための技能を身に付ける。
- ・粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度は「数学 I α 」と同様であるが、全体を通して質的な向上を目指す。

(エ) 教材費用 ¥1,816

⑩ 物理基礎 α

(ア) 科目内容

- 1 物体の運動、力と運動の法則、仕事と力学的エネルギー
- 2 熱とエネルギー
- 3 波の性質、音波
- 4 静電気と電流、電流と磁場、エネルギーとその利用

(イ) 条件 なし

(ウ) 目標 物理的な事物・現象についての観察・実験などを通して、物理の概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養います。

(エ) 教材費用 ¥1,739

⑪ 化学基礎 α

(ア) 科目内容

1 物質の構成	①物質の探究	②物質の構成粒子	
2 物質と化学結合	①イオン結合	②共有結合と分子間力	
	③金属結合	④化学結合と物質	
3 物質の変化	①物質と化学反応式	②酸と塩基	③酸化還元反応

(イ) 条件 なし

(ウ) 目標 自然の事物、現象に関する題材から、基本的な概念、原理、法則を理解するとともに、実験や観察を通して、科学的な自然観を身につける。また物質に着目して学習することで、現代社会をより広い視野で捉え、判断する力を養う。

(エ) 教材費用 ¥1,537

⑫ 生物基礎 α

(ア) 科目内容

[前期] 生物の特徴、生物の共通性と多様性、細胞とエネルギー、遺伝子とその働き、遺伝情報と DNA、遺伝情報の分配、遺伝情報とタンパク質の合成

[後期] 生物の体内環境の維持、体内環境と恒常性、体内環境の維持のしくみ、生物の多様性と生態系、植生の多様性と分布、生態系とその保全

(イ) 条件 なし

(ウ) 目標 地球上で互いに深い関係を保ちながら生活している多様な生物の生命現象や自然とのかわりを研究する生物学の基礎的な内容を学ぶ。

(エ) 教材費用 ¥2,819

⑬ 地学基礎 α

(ア) 科目内容

- 1 地球の形と大きさ、地球内部の層構造
- 2 プレートの運動、火山活動と地震
- 3 地球の熱収支、大気と海水の運動
- 4 宇宙、太陽系と地球の誕生、古生物の変遷と地球環境

5 地球環境の科学、日本の自然環境

- (イ) 条件 なし
- (ウ) 目標 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

(エ) 教材費用 ¥2,750

⑭ 物理α

- (ア) 科目内容 平面内の運動、剛体、運動量の保存、円運動と単振動
気体のエネルギーと状態変化、波の伝わり方、音の伝わり方、光
電場、電流、電流と磁場、電磁誘導と交流
電子と光、原子と原子核

(イ) 条件 物理基礎α履修済み

- (ウ) 目標 物理基礎を学習した後に、さらに物理的な事物・現象に対する探究心を深め、目的意識をもって観察・実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成します。

(エ) 教材費用 ¥2,392

⑮ 化学α

- (ア) 科目内容 ①物質の状態と平衡 ②物質の変化と平衡 ③無機物質の性質
④有機化合物の性質 ⑤化学が果たす役割
各单元内で生徒実験を実施予定

(イ) 条件 化学基礎α履修済み

- (ウ) 目標 化学基礎を学習した後に、さらに化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育むこと

(エ) 教材費用 ¥3,365

⑯ 生物α

- (ア) 科目内容 [前期] 生命現象と物質、細胞、タンパク質、呼吸、光合成、遺伝子はたらしき、遺伝情報の発現、バイオテクノロジー、生殖と発生、動物の発生、発生のしくみ、植物の発生等
[後期] 動物の刺激の受容と反応、動物の行動、植物の環境応答、生態と環境、生態系と多様性、生物の進化と系統など

(イ) 条件 生物基礎α履修済み

- (ウ) 目標 生物基礎を学習した後に、さらに生物的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、人間生活と自然環境との調和を図る意識や健全な自然観を育む。

(エ) 教材費用 ¥3,484

⑰ 演劇概論

- (ア) 科目内容
- ・日本の近現代演劇の流れ
 - ・世界の演劇史
 - ・社会の変化と演劇の関わり
 - ・演劇と他の舞台芸術との違い
 - ・演劇上演における出演者やスタッフの役割（劇作、演出、演技、舞台美術、照明、音楽、音響、衣装、メイク、舞台監督、企画制作等）の仕事内容

- ・舞台作品制作における演出の役割
 - ・グループ演出による演出体験と発表
- 上記の内容について、講義・ディスカッション・調べ学習・レポート・プレゼンテーションなどの手段によって、考えを深める。

(イ) 条件 なし

- (ウ) 目標
- ・演劇の本質や演劇の歴史などについて理解するとともに、創意工夫を生かした演劇表現を創造するために必要な技能を身につけるようにする。
 - ・演劇の表現意図とそれにあつた表現方法について考え、演劇作品に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。
 - ・主体的・協働的に演劇の幅広い活動に関わり、舞台芸術により生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。

(エ) 教材費用 なし

⑱ 戯曲研究 A

- (ア) 科目内容
- ・戯曲の役割と文学としての特徴
 - ・名作戯曲の作品研究
 - ・劇構造の分析
 - ・登場人物の役割および性格
- 上記の内容について、講義・ディスカッション・調べ学習・レポート・プレゼンテーションなどの手段によって、考えを深める。

(イ) 条件 なし

- (ウ) 目標
- ・演劇における戯曲の役割と、表現の特徴を理解し、戯曲を解釈するために必要な技能を身につけるようにする。
 - ・戯曲の解釈や主題を自らの視点で考え、自らの意図を表現できるようにする。
 - ・主体的・協働的に戯曲を解釈する活動に関わり、舞台芸術により生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。

(エ) 教材費用 なし

⑲ 戯曲研究 B

- (ア) 科目内容
- ・戯曲創作の技法（セリフ及びト書きの書き方、プロットや登場人物）
 - ・短編戯曲の創作・相互批評
 - ・戯曲の構造や媒体による比較
- 上記の内容について、講義・ディスカッション・調べ学習・レポート・プレゼンテーションなどの手段によって、考えを深める。

(イ) 条件 ・戯曲研究 A を履修済みまたは戯曲の基礎知識がある状態での履修が望ましい。

- (ウ) 目標
- ・セリフ及びト書きの書き方や、プロットや登場人物の設定などを理解し、戯曲創作のために必要な技能を身につけるようにする。
 - ・短編戯曲の創作を通して表現の意図と創造的な工夫について考え、作品の相互批評に取り組み、自己の価値観を高めて演劇に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。
 - ・主体的・協働的に戯曲を創作する活動に関わり、舞台芸術により生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。

(エ) 教材費用 なし